

NEWS LETTER



京都教育大学
附属教育実践センター機構

Kyoto University of Education
Organization of Educational Research and Practice Centers

第2号 (2011. 6.20)

教育支援センター

Educational Support Center

<http://cert.kyokyo-u.ac.jp/>

教育研究交流会議について

去る6月1日創立記念日に、教育研究交流会議が開催されました。昨年と同様、全体会と分科会、懇親会が設けられました。全体会の参加者数は、教職員併せて279人にのびりました。

全体会では、「実践的指導力の育成と教育実習スーパースクール化構想」というテーマのシンポジウムが行われました。シンポジウム開催の趣旨は、「教員養成における実践的指導力の育成と教育実習のあり方について」議論を深めるとともに、「京都教育大学が取り組む教育実習スーパースクール化構想の実現に向けて必要なことについて大学が一体となって取り組む思いを共有」するということにありました(当日配布冊子、p.1)。

こうした趣旨に関わって、饗場知昭先生(副学長・附属学校部長)と徳岡慶一先生(教育学部・連合教職実践研究科教授)から説明がありました。「質の高い教員養成」をめざして、本学が実施するプロジェクト「教員養成高度化に対応する

附属学校の教育実習スーパースクール化構想」の概要が述べられました。大学教員と附属学校園教員が一体となって、「①附属学校教育がこれまで蓄積してきた教育実習指導法のノウハウを共有化し、②教員養成高度化に対応した教育実習指導法を開発し、公立学校に普及させ、公立学校教員の教育実習指導力の向上を支援する」という2点に「本プロジェクトの独創性・新規性がある」ことが説明されました(当日配布冊子、p.5)。



その後、パネリストによる講演がありました。梅津正美先生(鳴門教育大学教授)は、「授業力の育成をめざす自己省察型教員養成プログラムの開発—鳴門教育大学学士課程の教員養成教育改革—」と題して、鳴門教育大学で開発・実践されている「授業力評価スタンダード」の意義と課題について述べられました。続いて、小笠原豊先生(愛知県刈谷市立亀城小学校校長)には、「大学と公立小中学校との連携(新しい教育実習のあり方を求めて)」というテーマで、愛知教育大学との連携プロジェクトの詳細を報告いただきました。さらに、西井 薫先生(附属桃山小学校副校長)には、本学の進める「教育実習スーパースクール化構想」について、これまでの取り組みをふまえて、今後の展望をお話いただきました。

その後は、本シンポジウムのコーディネーター村上忠幸先生を中心に活発な議論が展開され、大学と附属学校園との連携の重要性と課題があらためて浮き彫りとなりました。

なお、当日参加された皆様にご回答いただいたアンケートからは、シンポジウムの進め方や大学・附属学校園の連携のあり方に関して、さまざまな課題が浮かび上がってきました。今後、検討していきたいと思っております。ご協力いただき、ありがとうございました。



教育について考えるシンポジウム/セミナー/ワークショップ等 2次募集中

第1次募集は6月16日に締め切りましたが、現在第2次募集を行っています。教育支援センターホームページに募集要項・申請票がありますので、ご応募をお待ちしています。なお、締切は7月1日(金)です。

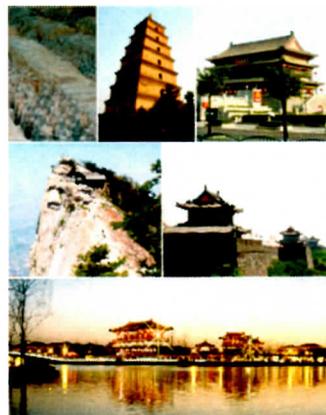
申請プロジェクト募集中

6月15日配布の様式(HPにもあります)をご参照の上、ぜひご応募ください。締め切りは7月1日(金)です。

留学生と地域住民との交流プログラム

本年度も留学生が質疑応答を交えながら、出身地を紹介してくれます。色々な国や町を生活者の立場から聞けるまたとない機会です。入退場も自由ですので、気軽に覗いてみて下さい。

日時: 2011年7月1日(金) 午後4時30分~午後5時30分
場所: 教育支援センター 1階 共同利用室
講師: 楊超(ヨウ・チョウ)さん
内容: 中国西安の街づくりについて



留学生交流演習室の board deco について



教育支援センター1階にある留学生・地域交流演習室の壁面を、本学幼児教育学科のみなさんに作成してもらっています。現在は、春から初夏にかけての様子が表されていて、部屋に季節感を与えてくれています。幼児教育学科のみなさんには、この部屋が出来てから、季節ごとに様々な壁紙を作ってきていただいています。今後、本誌面にて紹介していけたらと思います。ホワイトボードを彩るかわいらしい飾りを、皆様も楽しみにして下さい。オープンな部屋ですので、自由にご覧いただけます。

事務補佐員紹介

杉本 恭子(センター全般担当)

「教育実践研究指導センター」「教育実践総合センター」そして現在の「教育支援センター」と、このセンターの変遷を見てきましたが、どんどん活気に満ちてきたように思います。留学生のための部屋もあり、国際色も豊かな環境です。いつもセンター入口すぐの窓口にありますので、よろしくお願い申し上げます。

河内真由美(地域支援推進室担当)

教師を目指し意欲満々の学生さんを京都府・市はもちろん、兵庫・大阪・滋賀・奈良等の市町村の公立幼稚園・小・中・高等学校、特別支援学校に学校ボランティアとして派遣しています。地域支援を推進し、将来教育現場で活躍される学生さんたちのお役に立てよう努めたいと思います。

教育支援センター スタッフ

センター長(併)	水山 光春	075-644-8281	mizuyama@
教育実践連携部門	樋口とみ子	075-644-8337	tomiko@
実地教育部門	小林 稔	075-644-8229	mkoba98@
モラル・人権意識向上教育部門	関口 久志	075-644-8326	sekihisa@
特任教員(京都市教育委員会)	桶谷 守	075-644-8214	oketani@
特任教員(京都府教育委員会)	竹花 裕子	075-644-8216	yuko627@
事務補佐員 センター全般	杉本 恭子	075-644-8335	kyoko@
事務補佐員 地域支援推進室	河内真由美	075-644-8336	sien@
事務補佐員 留学生・地域交流演習室 (16時15分~17時15分)	鄭紫薇(月・火・金)		李琳(水・木)

TEL 075-644-8335 FAX 075-644-8339 E-mail cert@kyokyo-u.ac.jp

